



2019年度 事業報告

2020年4月24日
九州経済国際化推進機構

1.国際化戦略等の企画・立案

- ①機構事業策定のための検討会議の設置
- ②国際関係イベント、海外関係機関からの情報の共有

2.広報・情報発信

- ①ウェブサイトによる情報発信
- ②広報資料による情報発信 …… PROFILE OF KYUSHU…改訂

3.経済交流 <九州と海外との経済交流>

(1)アジア地域との経済・産業交流事業

①環黄海地域、中国及び韓国との経済交流事業

- ◆第18回環黄海経済・技術交流会議 …… 時期:2019年11月19～22日 開催地:中国・山東省済寧市

②アセアンとの経済交流事業

《ミッション派遣》

- ◆フィリピン経済交流ミッション …… 時期:2019年7月15～19日 訪問先:マカティ市、ラグナ州、バタンガス州ほか
- ◆ベトナム経済交流ミッション …… 時期:2020年3月 訪問先:ハノイ、ハイフォンほか 延期

《FS調査》

- ◆タイとの新たな経済交流の検討 …… 新たな経済交流に係る検討

《招聘事業》

- ◆ベトナム人材活用による事業拡大セミナー …… 時期:2019年9月3日 開催地:福岡市
- ◆ベトナム地方都市セミナー …… 時期:2019年11月5日 開催地:熊本市
- ◆台湾 …… 時期:2019年9月6日 開催地:台湾「日台経済貿易永続フォーラム」に協力

(2)海外ビジネス・経済情報提供事業

- ◆海外展開支援施策説明会 & 無料相談会 …… 時期:2019年9月～2020年3月 開催地:九州7県 一部中止
- ◆九州・米国起業家セミナー2019 …… 時期:2019年9月11日(宮崎)、12日(大分)、13日(北九州)にて開催
- ◆ミャンマー・ヤンゴンビジネスセミナー …… 時期:2019年8月21日 開催地:福岡市
- ◆海外ビジネス基礎セミナー、海外ビジネス実践ワークショップ …… 時期:2019年12月～2020年2月 開催地:長崎市ほか 中止

(3)海外販路開拓支援事業

- ◆九州本格焼酎セミナーinパリ、Kura Master招聘事業 …… 時期:2019年11月、2020年2月 開催地:パリ、鹿児島県内

4.人材交流 <外国人材の確保、留学生の活用>

- ◆Work in Kyushu連携事業 …… 時期:2019年10月以降 開催地:九州内2か所程度

5.投資促進 <インバウンド・外国企業誘致>

- ◆九州プロモーション事業 …… 時期:2019年9月 開催地:熊本市

1.国際化戦略等の企画・立案

九州経済国際化推進機構事業策定のための検討会議

検討会議設置の目的

1. 趣旨

- 機構事業の計画立案にあたり、自治体をはじめとした個々の会員機関のニーズを把握するため、機構事務局との連携体制を強化する。
- 具体的には、短期的及び中期的視点から、次年度以降の国際化・海外展開等事業における連携案件を発掘すべく、個別事業の連携実施の方向性に関する意見交換を行う。
- 機構事務局と個々の会員機関の「共通認識」を高め、会員相互の一体的な取組の強化を図る。

検討会議開催実績・主な意見

管内3カ所において、各県、ジェトロ、中小機構、地元金融機関、事務局等による検討会議を実施。開催自治体の海外展開支援の取り組みや今後の重点分野、問題意識、将来的に連携可能な分野等を中心に様々な観点から意見交換。

○開催実績：宮崎県（令和元年10月3日）、熊本県（令和元年10月30日）、長崎県（令和2年1月28日）

○主な意見（将来的な連携可能分野等）：

- 食のグループ輸出に関しては、スケールメリットによる物流等のコスト削減のほか、複数商品をセットで持って行ければ発進力、ブランド力強化にもつながる。
- 加工食品等を中心に東アジア、東南アジアをターゲットに輸出促進拡大に取り組んでいる。今後は、商社等を活用した現地での販路拡大などを機構と実施したい。
- 企業の海外展開支援に関しては、機構と連携しながら、費用負担を減らしつつも、効果的な取り組みを行っていきたい。
- 農林水産物の輸出促進のためにインバウンドを活用した試食や味覚調査などに取り組んでいる。現地ニーズを探る上で、機構と現地市場に関するFS調査を実施し、海外への輸出展開を検討できないか。
- 焼酎の輸出促進については、当県単独でなく、スケールメリットを活かして「九州の焼酎」として取り組めるとよい。

2. 広報・情報発信

ウェブサイト・広報資料による情報発信

■ 九州経済国際化推進機構ウェブサイト

URL <http://www.kyushu-kei.org/>



- 九州において活用可能な各種セミナー等のイベント情報、補助金や助成金、委託事業等の公募情報など、九州企業及び関係支援機関の海外展開支援や普及啓発に資する情報を随時発信中。

■ PROFILE OF KYUSHU



- 九州の経済規模、主要産業・企業、交通インフラ、成長戦略等の概況を説明する資料として毎年度改訂。2020年度版では4か国語（日、英、中、韓）に加え、ベトナム語版を作成。
- 海外ミッションや海外からの来客に九州のPRツールとして活用。

■ メールマガジン「海外ビジネスサポート通信」



- 管内自治体、JETROや中小企業基盤整備機構など関係機関との協力のもと、海外展開に係るイベントや支援施策の情報を提供。原則週一回配信。
- 受信登録者数 1,770名
(2020年3月末現在)

■ 海外ビジネスサポートブック



- 企業の海外展開を支援するため、国や自治体、関係機関の相談窓口や海外ビジネス支援制度等をまとめた「2020年海外ビジネスサポートブック九州版」を作成（2020年4月改訂）
- 発行部数：3,000部

3. 經濟交流

- 九州の産業・企業が、国際競争力を確保し、持続的な成長を遂げていくためには、中国、韓国等の東アジア・環黄海地域の成長ダイナミズムと連動し、新しいニーズとシーズを結合させた、新たな価値創造が求められているところ。
- このような中、九州地域では、2001年3月から、中国、韓国の中央政府や経済団体とのパートナーシップのもと、環黄海圏の経済交流の深化を図るため、「環黄海経済・技術交流会議」を開催。
- 日中韓の地域間経済交流を持続するプラットフォームとして、重要な地方レベルの会議として、三か国首脳からも注目。
- これまでに17回開催しており、2019年は11月19日～22日に、中国山東省済寧市において第18回会議を開催。

【構成】

- ◇中国：商務部、自治体、大学等
- ◇韓国：産業通商資源部、経済団体、自治体、大学等
- ◇九州：九経連、九州経済局、自治体、経済団体、大学等

【内容】ビジネスフォーラム、三国局長会議等

環黄海地域

上海から大連、仁川から釜山に至る中国・韓国沿岸部及び九州からなる黄海を取り巻く地域経済エリア。

同地域の人口は約4億人（全世界の約6%）。GDPは全世界の約5%に達し、ASEAN（同2.3%）を上回る水準に達する。

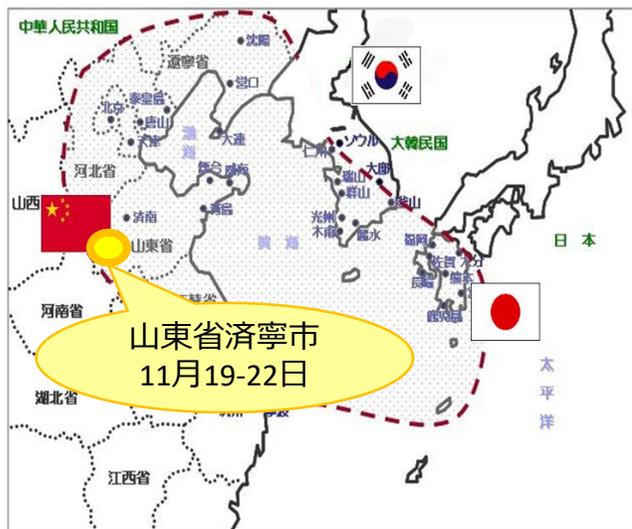
政府間ハイレベル協議での積極的な評価

日中韓サミットや貿易大臣会合において評価されており、直近では以下のとおり。

- ◆ 第12回日中韓経済貿易大臣会合（2019年12月22日、中国・北京）における共同声明において「地方間協力を促進し、環黄海経済・技術交流会議のような仕組みを向上させ、地方レベルでの様々な形の実務的協力を支援していくことを再度強調した。」と言及。
- ◆ 第7回日中韓サミット（2018年5月9日・東京）における共同宣言の附属書に記載。

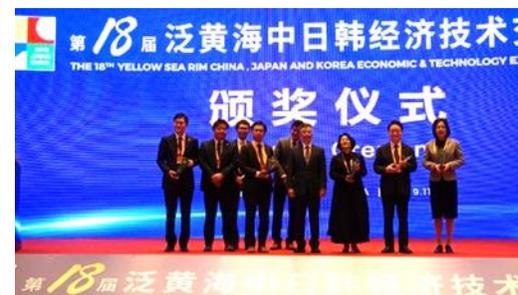
【過去の開催状況】

- | | | |
|------|----------|--------------|
| 第1回 | 2001年3月 | 日本（福岡市） |
| 第2回 | 2002年10月 | 韓国（全羅北道全州市） |
| 第3回 | 2003年9月 | 中国（山東省威海市） |
| 第4回 | 2004年10月 | 日本（宮崎県宮崎市） |
| 第5回 | 2005年11月 | 韓国（大田広域市） |
| 第6回 | 2006年11月 | 中国（山東省日照市） |
| 第7回 | 2007年11月 | 日本（熊本県熊本市） |
| 第8回 | 2008年10月 | 韓国（仁川広域市） |
| 第9回 | 2009年7月 | 中国（山東省煙台市） |
| 第10回 | 2010年10月 | 日本（北九州市） |
| 第11回 | 2011年11月 | 韓国（大田広域市） |
| 第12回 | 2013年11月 | 中国（江蘇省連雲港市） |
| 第13回 | 2014年11月 | 日本（長崎県佐世保市） |
| 第14回 | 2015年11月 | 韓国（釜山広域市） |
| 第15回 | 2016年7月 | 中国（江蘇省塩城市） |
| 第16回 | 2017年11月 | 日本（鹿児島県鹿児島市） |
| 第17回 | 2018年11月 | 韓国（全羅北道群山市） |
| 第18回 | 2019年11月 | 中国（山東省済寧市） |



〔第18回会合（中国・済寧）の概要〕

- 前回（2018年韓国・群山会合）に続き、「地域間交流の促進」と「イノベーションを通じた新産業・新市場の創出」による「環黄海地域の経済交流モデルの構築」をテーマに、九州・中国・韓国の環黄海地域における経済交流促進を協議。「環黄海会議本会議」のほか、「環黄海ビジネスフォーラム」、「日中韓国際産業団地協力フォーラム」などの事業を実施。
- 九州からは、「九州経済国際化推進機構」メンバーの他、企業、団体などから51名が参加。
- 中国からは、商務部 彭 剛（パン ガン） 亜洲司（アジア司） 司長をはじめとする263名、韓国からは産業通商資源部 金 基峻（キム キジュン） 局長／自由貿易協定交渉官をはじめとする61名が参加（総勢375名）。
（※韓国、中国の参加者数は登録者数）
- 本会議では、環黄海ビジネスフォーラム等の各事業の総括、各国からの提案発表のほか、5回目となる「環黄海経済・技術交流大賞」の表彰式を実施。九州からは「（株）オークマ 代表取締役社長 大隈 賢一郎 氏」及び「チーム九州」が受賞。
- また、次回開催である九州・熊本からは、同市の紹介、魅力のPRを実施。



〔上海視察・交流会〕

- 訪中機会を活かし、済寧市訪問の前日には上海市を訪問。
- 上海輸入博覧会の常設展示場を視察した他、JETROから現地情勢のブリーフィング、J R九州や各県・政令市の上海事務所で構成される「チーム九州」の活動紹介、在上海関係機関との交流会を開催。
- 中国の中でも、市場として関心が高い上海の現状把握と、参加者のネットワーク拡大を推進。

- 2019年の環黄海会議開催都市である中国山東省済寧市が、事前PRのため6月24日に九州（福岡）に来訪。
- 機構では、駐福岡中国総領事館等と協力し、「中国経済セミナー」を開催。
- 済寧市の紹介や環黄海会議の事前案内に加え、中国総領事館 張部長を講師に、税制面から見た中国経済の現状についての講演を実施し、全体で44名が参加。

名称 中国経済セミナー
 「税制面から見た中国の経済政策の現状と山東省済寧市
 （2019年環黄海経済・技術交流会議開催地）について」
 日時 2019年6月24日（月）15：30～17：30
 場所 九州経済産業局九経交流プラザ会議室（福岡県福岡市）
 主催 九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、山東省済寧市
 協力 中華人民共和国駐福岡総領事館
 後援 JETRO福岡、福岡貿易会
 出席者 44名

〔山東省済寧市からの主な来日者〕
 李懷陽 済寧市商務局副局長
 孫萍萍 済寧市商務局外資課課長
 谷棟梁 済寧市商務局投資促進課課長
 王新宏 曲阜市商務局局长
 王継臣 済寧国家高新技术産業開発区経済発展局副局長

プログラム

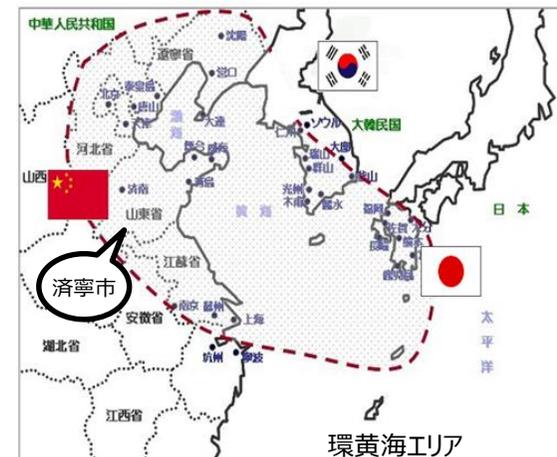
- 15:30 開会挨拶（九州経済国際化推進機構）
- 15:35～16:05〔講演1〕主に税制面から見た中国の経済政策の現状
 中華人民共和国駐福岡総領事館 経商科技部 張小平 部長
- 16:05～16:15〔講演2〕2019年環黄海経済・技術交流会議（済寧会合）について
 九州経済国際化推進機構事務局
- 16:15～17:25〔講演3〕済寧市の紹介
 挨拶・メンバー紹介：李懷陽 済寧市商務局副局長
 日本産業パーク及び重点協力プロジェクト紹介
 ：吳姍姍 済寧国家高新技术産業開発区経済発展局
- 17:25～17:30 質疑応答



(張部長の講演)



(会場の様子)





2019年7月、九州とフィリピンとの間で貿易・投資等ビジネス機会を増やすことを目的として、ミッション団を派遣。フィリピン投資委員会と、九州とフィリピンの経済交流の促進に関するMOUを締結するとともに、フィリピン行政機関・経済団体との協力関係を構築した。



人口：約1億98万人
 名目GDP：3,140億ドル
 九州からの輸出：**655億円**
 比からの輸入：**1,157億円**
 公用語：フィリピン語、英語



- 日時 2019年7月15日（月）～19日（金）
- 場所 フィリピン共和国 メトロマニラ、バタンガス州
- 主催 九州経済国際化推進機構
- 内容 フィリピン投資委員会（BOI）とのMOU締結
 現地工業団地・進出日系企業視察等
 現地日系支援機関とのビジネス相談会
- 構成 団 長：九州経済連合会会長
 顧 問：九州経済産業局長
 団 員：企業、支援機関、自治体等
 計39名（部分参加者4名含む）

【ミッション参加者アンケート結果】

- ミッションに対する総合的な満足度
 → 参加者全員が「とても満足」「満足」と評価
 「とても満足」の割合が6割超
- 今後の活動展開につながる成果（案件）
 → 参加者の約9割が「あった」と回答

■ MOU締結式・記念夕食交流会

- ・日時：7月16日（火）17:00～19:00 ・場所：ニューワールド・マカティホテル 2Fボールルーム
- ・先方：貿易産業省（DTI）ロペス大臣、投資委員会（BOI）ロドルフォ副議長、DTIバルバ次官、駐日フィリピン大使館貿易投資部 デイタ参事官（ほか）比日経済協力委員会（PHILJEC）、フランチャイズ協会（PFA）、半導体電子工業会（SEIPI）、自動車部品工業会（CAMPI）等も同席

■ 九州とフィリピンの経済交流の促進に関するMOU (Memorandum Of Understanding)を締結

【MOUの主な内容】

- ・投資ミッションの派遣・受入れに関する協力
- ・相手地域におけるビジネス開始・拡大促進に関する協力
- ・投資環境や機会に関する情報共有

- ◆ フィリピン側
 〈署名者〉ラモン M. ロペス BOI議長（貿易産業大臣）
 〈立会人〉ロウェル S. バルバ DTI次官
 ※後方左は、セフェリノ S ロドルフォ BOI副議長
- ◆ 九州側
 〈署名者〉麻生泰 九州経済国際化推進機構会長（九州経済連合会会長）
 〈立会人〉塩田康一 九州経済国際化推進機構顧問（九州経済産業局長）





3.経済交流(1)アジア地域との経済・産業交流事業 九州・フィリピン経済交流ミッションの派遣②

■EMSグループ視察

・日時：7月17日(水) 9:30～11:00

- ラグナ工業団地に本社立地。
- 主として電機・電子機械や部品の受託製造を実施。また、顧客企業の技術シーズとEMSの労働力、設備・管理を活用し、フィリピンへ初進出の企業であっても、迅速で容易、低リスクの製造工程立ち上げができるよう支援。
- 同時に、顧客企業のニーズに応じ、日本語教育も含め、若年労働力層への職業訓練・人材育成を実施。
- ペリー会長ほか幹部数名が9月に来九され、懇談会を開催。



■ビジネス相談会

・日時：7月18日(木) 13:30～16:30

- 第1部の全体セッションでは、各支援機関から「フィリピン進出を成功させるポイント」についてプレゼン、質疑応答。
- 現地支援機関として、以下の4社が参加。
 - ・住友商事株式会社
 - ・株式会社みずほ銀行
 - ・西村あさひ法律事務所
 - ・クシュマン・アンド・ウェイクフィールド株式会社
- 第2部の個別相談会には6社が参加。うち5社が今後のフィリピンビジネスについて進展の意向。



■ファーストフィリピン工業団地、日系企業視察

・日時：7月17日(水) 12:00～17:00

- マニラ中心部から52km、パタンガス州に位置する工業団地。
- 住友商事が30%、現地財閥パースグループが70%を出資。
- 入居129社のうち日系企業が69社。
- Canon、YKK、CITIZEN、brother、Nestleなど、精密機械、自動車・二輪、電子部品、食品など多分野の製造業が進出。
- 現在、団地拡張のための造成工事も継続中。
- 入居日系企業である、Honda Philippines Inc.と Nippon Premium Bakery Inc.を視察



■フィリピン日本人商工会議所との意見交換会

・日時：7月18日(木)17:30～18:20

- フィリピン進出の日系企業、個人からなる非営利団体。1973年11月設立。会員数675社。役員には、三菱・丸紅など日系の大手企業が歴任。
- フィリピンに進出企業相互の交流のほか、各種情報提供活動や経営上の課題に対して、関係機関とも連携しその解決に当たっており、現地における日本企業の重要な味方として機能。
- フィリピン在住20年の藤井副会頭から「フィリピン経済の現状：特徴とポイント」について講演。



- 2009年2月に九州経済国際化推進機構（以下、機構）はベトナム計画投資省とMOUを締結し、その後相互に経済交流ミッション団を派遣して経済交流を進めてきたところ。
- 九州からベトナムへの経済交流ミッション団派遣はMOU締結後4回実施（2010年度、2013年度、2015年度、2017年度）。
- 2019年度は、「ベトナム人材活用による事業拡大促進セミナー」、「ベトナム地方都市PRセミナー」を開催。
- なお、2020年3月に予定していた「九州・ベトナム経済交流ミッション2020」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関するベトナム政府のガイドライン発表等を踏まえ、派遣を見送り。

2019年度の実施事業

1. ベトナム人材活用による事業拡大促進セミナー

ベトナム人材を活用した九州企業の事業拡大・海外展開促進を目的として実施。

【日時】2019年9月3日（火）13:45～17:00

【場所】電気ビル本館（福岡市中央区）

2. ベトナム地方都市PRセミナー

ベトナム地方都市のPRと九州地域の企業・団体等との経済交流促進を目的として実施予定。

※2019年度は、バクリユウ省、コントウム省、イエンバイ省が来九。

【日時】2019年11月5日

【場所】ホテル熊本テルサ（熊本市中央区）

3. 九州・ベトナム経済交流ミッション2020（派遣事業）〔見送り〕

※派遣に向けた事前協議（2019年10月）のみ実施。

また、派遣見送りによりキャンセル料が発生したが、九州地域産業活性化センター及び九州ベトナム友好協会の御協力により当初予算内で精算が完了。次回ミッション派遣は、新型コロナウイルスの状況等を踏まえて実施予定。

〔当初予定〕

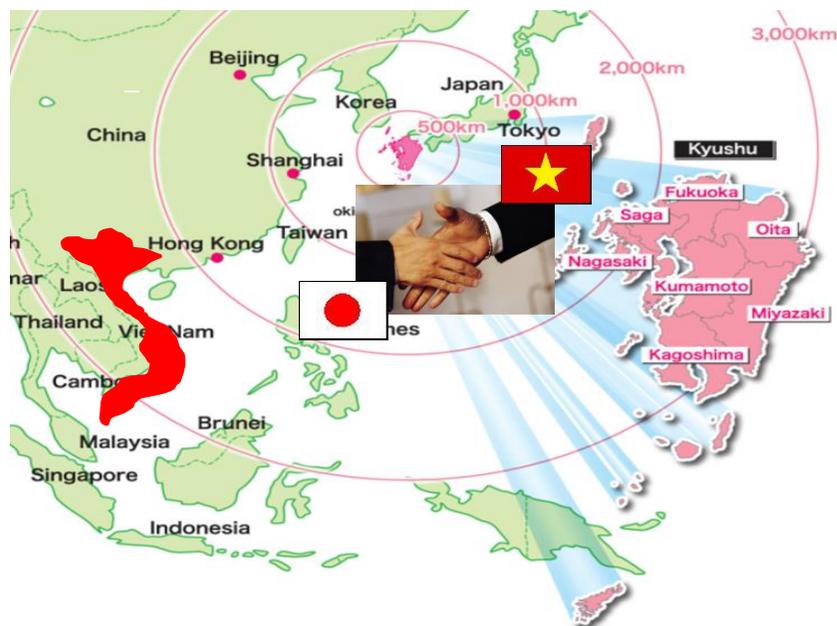
目的：ベトナム経済の発展やCPTPP発効を追い風とする九州・ベトナム間の貿易拡大や優秀なベトナム人材の確保の後押し。

【日程】2020年3月15日～20日

【訪問地域】ハノイ市、ハイフォン市、ホーチミン市

【訪問団】麻生九経連会長を団長として40名程度

【主な訪問先】ベトナム政府機関、物流インフラ施設、人材育成機関、日本政府関連機関（大使館、領事館、JETRO）等



ベトナム人材活用による
事業拡大促進セミナー



ベトナム
地方都市PRセミナー

ベトナムとの経済交流事業②ベトナム人材活用による事業拡大促進セミナー

《在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館設立10周年記念事業》

- 九州経済国際化推進機構では、在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館設立10周年を祝して、2019年9月3日(火)に同領事館及び国際機関日本アセアンセンターと共催で「ベトナム人材活用による事業拡大促進セミナー」を開催。
- 本セミナーは、2019年4月に改正入管法が施行され、今後九州内の企業によるベトナム人材の活用がより一層増加することが見込まれることから、ベトナム人材の効率的・効果的な活用による事業拡大を後押しするために開催したものの。
- 帝京大学の中西准教授や東海大学の万城目准教授をお招きして、ベトナムの経済事情や歴史的背景及び実習生受入の現状等についてご説明いただくとともに、ベトナムの人材育成機関や九州内の人材受入機関等から取組内容をご紹介いただいた。

名称 ベトナム人材活用による事業拡大促進セミナー

日時 2019年9月3日(火) 13:45~17:00

場所 電気ビル本館 B2F 8号会議室

主催 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館
国際機関日本アセアンセンター
九州経済国際化推進機構

後援 JETRO福岡、JICA九州、福岡貿易会、
九州ベトナム友好協会

参加者 191名(講師、事務局を含む)

プログラム

1. 主催者代表挨拶 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館 ヴービン 総領事
2. 講演
 - ①ASEAN全体から見るベトナム
帝京大学経済学部准教授 中西 宏太 氏
 - ②ASEANからの実習生受け入れの仕組みと課題、制度改正のポイント
東海大学教養学部准教授 万城目 正雄 氏
 - ③ベトナム企業ならびに送出機関による高度人材育成について
FPTジャパン福岡オフィス、GAG(日本語教育学校)、
SONA国際人材派遣貿易会社(人材送出機関)、
TAM QUY COMMERCIAL JOINT STOCK COMPANY(人材送出機関)
VINAMEX., JSC ベトナム人材開発 商業(株)(人材送出機関)
 - ④ベトナム人材活用体験談ならびにベトナム人材に求めるもの
(株)福岡銀行 グローバルソリューション部 部長 渡辺 貴幸 氏
(株)まごころライフ
ワールドネクサス協同組合 副理事長 穂満 光男 氏
(株)SAIGON
九州アジア産業支援協同組合 専務理事 中瀬 謙 氏



ルービン 総領事挨拶



講演① 帝京大学 中西 氏



講演② 東海大学 万城目 氏



懇親会

3.経済交流 (1)アジア地域との経済・産業交流事業

ベトナムとの経済交流事業③ベトナム地方都市PRセミナー

- 九州経済国際化推進機構では、ベトナムとの経済交流事業の一環として、2019年11月5日（火）にベトナム社会主義共和国外務省、在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館と共に「ベトナム地方都市PRセミナー」を開催。
- 開催地となった熊本県の小野副知事ご参加の下、**バクリュウ省（ベトナム南部）、コントウム省（ベトナム中部）、イエンバイ省（ベトナム北部）**の人民委員長等から、各地方都市における経済状況や投資環境等についてPR。
- また、九州からベトナムへの進出事例として**合志技研工業株式会社**よりプレゼンいただきと共に、熊本とベトナムの交流促進に取り組んでいる**特定非営利活動法人熊本日越協会**にも登壇いただき、ベトナム地方都市と九州地域の経済交流を図った。

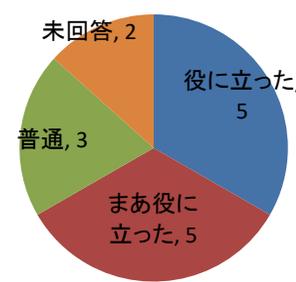
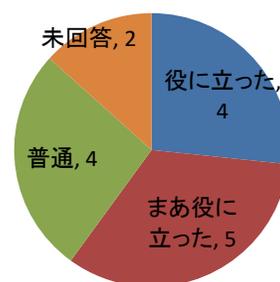
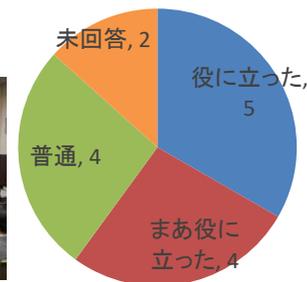
名称 ベトナム地方都市PRセミナー
 日時 2019年11月5日（火）14:00～17:00
 場所 ホテル熊本テルサ（熊本県）
 主催 ベトナム社会主義共和国外務省、
 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館
 九州経済国際化推進機構
 出席者 約92名（日本側61名、ベトナム側31名）
 ベトナム側ミッション団
 ベトナム外務省地方対外局 グエン・ホアン・ロン 局長
 バクリュウ省 ズオン・タン・チュン 人民委員会委員長
 コントウム省 グエン・バン・ホア 人民委員会委員長
 イエンバイ省 グエン・チエン・タン 人民委員会副委員長
 *この他、各省関係者、同行企業等

プログラム

主催者挨拶 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館 総領事 ヴー・ビン 氏
 九州経済国際化推進機構 参与 渡部 伸仁 氏
 （九州経済産業局 国際部長）
 来賓挨拶 熊本県 副知事 小野 泰輔 氏
 ベトナム3省によるプレゼンテーション
 （バクリュウ省、コントウム省、イエンバイ省）
 ベトナム進出事例 合志技研工業株式会社 管理部部長 西村 浩 氏
 管理部主幹 岩下 真樹 氏
 ベトナムとの交流取り組み 特定非営利活動法人 熊本日越協会
 会長 山本 祐司 氏

～参加者アンケート結果～

バクリュウ省によるプレゼン コントウム省によるプレゼン イエンバイ省によるプレゼン



主催者挨拶
（ヴー・ビン総領事）



主催者挨拶
（渡部参与）



来賓挨拶
（小野副知事）



セミナーの様子



タイとの新たな経済交流に係る検討

- 当機構では、2012年にタイ投資委員会（BOI）との間でMOUを締結。
- 2018年10月の在福岡タイ総領事館の設置は、九州とタイとの交流強化のチャンス。
- 既に活発に行われている各県・政令市・各機関やクラスター等による経済交流の状況を踏まえつつ、機構事業としての新たな経済交流事業の可能性について検討。

〔既に行われている取組〕

各県・政令市等の経済交流事業

各県・政令市・各機関の事業（一例）

時期	交流実績
2018年5・6月	THAIFEX出展（長崎県貿易公社）
2018年8月	バンコク日本博2018 KUMAMOTOブース
2018年10月	タイ経済セミナー（福岡県）
2019年1月	福岡県経済ミッション
2019年2月	みやぎんタイ王国視察団（宮崎銀行） YMFG交流会inタイ（山口銀行）

クラスターの経済交流事業

クラスターの事業（一例）

時期	交流実績
2018年2月	タイ環境エネルギー現地調査ミッション
2018年6月	バイオメディカルエンジニア（BME）を対象とした医療機器の取扱いに関するワークショップ開催
2018年11月	タマサー大学医学部（CICM）での透析機器使用講習会の開催
2019年2月	九州・タイ環境ビジネスミッション2019

これらの取組を踏まえつつ、機構事業としての新たな経済交流事業を実施する場合の分野・内容について、在福岡タイ王国総領事館等の関係機関と意見交換を行った。

2020年度も引き続き具体的事業を検討。

3. 経済交流 (1) アジア地域との経済・産業交流事業 台湾との経済交流事業

2013年6月の九州経済連合会と台湾工商協進会とのMOU締結以降、台湾との経済交流が活発化。2019年度は、台湾工商協進会の要請を受け、同会が主催する「日台（台日）経済貿易永続フォーラム」に九州からも参加。パネルディスカッションのパネラーや、循環型経済の新ビジネスモデルの講演者を務めた。

日台（台日）経済貿易永続フォーラム 概要

【日時・場所等】

- ・日 時： 9月6日（金）9:30～17:00
- ・主 催： 台湾工商協進会、台湾永續能源研究基金會
- ・共 催： 台湾企業永續研訓中心、経団連、関経連、中経連、九経連、道経連、四経連
- ・会 場： 台北国際会議センター
- ・参加人数： 在台日系企業、台湾企業等390名

【開催目的】

日本と台湾の関係強化及び経済交流の促進のため、国連が掲げている持続可能な開発目標(SDGs)や、企業の社会的責任(CSR)の達成に向けての交流の場を設け、地域経済連携及び持続可能な発展を重要議題として、日本及び台湾の産官学それぞれの専門家がグローバルな視点から双方の経験を共有しながら、経済貿易の持続的な成長につなげていくことを期待する。

【プログラム】

- 9:30～9:40 開会式
- 9:45～10:30 パネルディスカッション「CPTPPの日本に対する意義」
【九州経済連合会 張本邦雄副会長(TOTO株式会社社長)】
- 10:30～11:30 基調講演1 台日貿易の展望
- 11:00～11:20 基調講演2 SDGs/CSRについて
- 11:20～12:15 Case Study I グリーントレードの新たな契機
- 13:30～14:55 Case Study II 循環型経済の新ビジネスモデル
【株式会社正興電機製作所 添田英俊代表取締役社長(九経連)】
- 15:15～16:40 Case Study III 持続可能な企業とグローバルチェーン
- 16:40～17:00 閉会式



(パネルディスカッション)



(添田社長講演)

ミャンマー・ヤンゴンビジネスセミナー

- ミャンマー商工会議所連盟(UMFCCI)からKyaw Kyaw Win中央執行委員を招聘し、2019年8月21日(水)「ミャンマー・ヤンゴン ビジネスセミナー」を開催。
- ミャンマー投資環境への理解を深めることを目的として、ミャンマーの最新ビジネス環境や生活環境についての説明のほか現地日系進出企業の「生の声」並びにミャンマー人材を中心とした外国人材活用のポイントを紹介するとともに、講師・参加者によるネットワーキングの機会を設けた。

<名称> ミャンマー・ヤンゴンビジネスセミナー
 <日時> 2019年8月21日(水) 15:00~17:30
 <場所> 電気ビル共創館(福岡県福岡市)
 <主催> 福岡市, 福岡市姉妹都市委員会, 九州経済国際化推進機構
 <共催> (公社)福岡貿易会, ジェトロ福岡, 福岡アジアビジネス支援委員会
 <後援> 福岡商工会議所, (独)中小企業基盤整備機構九州本部, (独)国際協力機構九州センター
 <参加者> 102名



セミナーの様子



Kyaw Kyaw Win中央執行委員



ネットワーキングの様子

プログラム

- (1)主催挨拶
福岡市経済観光文化局 理事 天本俊明
九州経済国際化推進機構 参与 渡部伸仁
- (2)来賓挨拶
ミャンマー商工会議所連盟(UMFCCI) 中央執行委員 Kyaw Kyaw Win
- (3)基調講演
みずほ銀行ヤンゴン支店 支店長 金崎 祐司
「ミャンマー ビジネス環境と生活環境について
なぜミャンマーが注目されているのか?」
- (4)取組事例
トリゼンフーズ(株) 代表取締役会長 河津 善博
「トリゼンフーズの海外挑戦 in ミャンマー・ヤンゴン編」
(株)ジェイサット (J-SAT) 代表取締役 西垣 充
「成功するミャンマー進出 ポイントは人材活用!」
- (5)ネットワーキング・名刺交換

アンケート結果:一般参加者数79名、アンケート回収45名

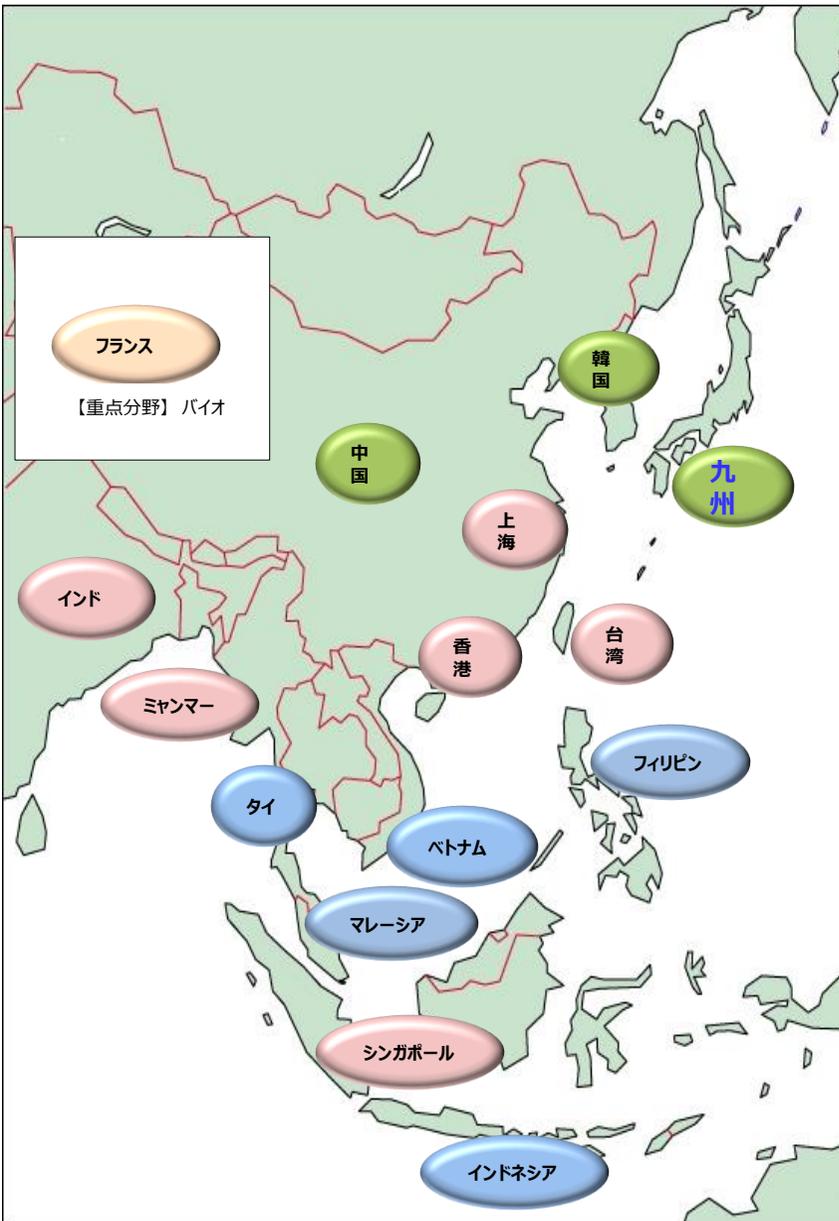
▼本日のセミナーについて

役に立った	35
まあ役に立った	6
普通	3
あまり役に立たなかった	0
役に立たなかった	0
未回答	1

▼参加者の業種について

製造業	7
建設業	3
情報・通信業	6
運輸業	0
農業	1
金融・不動産業	4
卸売業(商社含む)・小売業	9
飲食業	2
各種サービス業	9
学術・研究機関	1
官公庁・自治体・支援機関等	2
その他	2

参考：九州と海外の経済交流 – MOU締結地域等 –



国・地域	締結先	締結時期	九州側
ベトナム	・ベトナム計画投資省 (MPI)	2009年 2月	機 構
香 港	・香港中華総商会 (CGCC) ・香港貿易発展局 (HKTDC)	2011年 11月 2012年 8月	九経連 九経連
台 湾	・中華民国工商協進会 (CNAIC)	2012年 6月	九経連
インドネシア ⁺	・インドネシア共和国投資調整庁 (BKPM)	2012年 11月	機 構
タ イ	・タイ投資委員会 (BOI)	2012年 11月	機 構
ミャンマー	・ミャンマー商工会議所連盟 (UMFCCI)	2013年 2月	九経連
シンガポール	・シンガポールビジネス連盟 (SBF)	2013年 7月	九経連
インド	・インド商工会議所連合会 (FICCI)	2014年 6月	九経連
中 国	・上海新滬商連合会 (SEA) ・山東省商務庁 (DCSP)★ ・山東省威海市人民政府 (WMPG)★	2014年 9月 2018年 6月 2018年 6月	九経連
マレーシア	・マレーシア投資開発庁 (MIDA)	2015年 11月	機 構
フィリピン	・フィリピン共和国投資委員会 (BOI)	2019年 7月	機 構

★ 食品流通での相互協力に特化したMOU (九経連での窓口は農林水産部)

† インドネシア商工会議所(KADIN)については、2012年11月締結時に定めた3年間の有効期限が満了

国・地域	締結先	締結時期	九州側
韓国	・韓国産業団地公団	2007年11月	
中国	・大連市政府 ・山東省政府	2009年2月 2010年7月	九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (※2016 (H28) 年6月21日に名称変更)
マレーシア	・マラッカグリーンテクノロジーコーポレーション (MGTC) ・イスカンダル・マレーシア商工会議所	2013年10月 2016年8月	九州環境エネルギー産業推進機構
フランス	・FC2イノベーションフランチフードクラスター (FC2) ・ブルーバンクール協会 (BBC)	2010年9月 2013年10月	九州地域バイオクラスター推進協議会
ベトナム	・ホーチミン半導体協会 (HSIA)	2013年11月	
台湾	・經濟部工業局智慧電子産業計画推動弁公室 (SIPO)	2019年5月	九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会

海外展開支援施策説明会

- 企業の海外展開を支援するため、各支援機関による販路開拓・知財等の支援施策の紹介、専門家による最新の海外情報に関する講演、企業の事例紹介、個別相談等を盛り込んだ説明会を9月から順次開催。
- 本年度は各開催県のニーズを取り入れ、「農林水産物食品の輸出」、「医療・福祉機器、ヘルスケア関連ビジネスの海外展開」といった特定業種のテーマ設定や、「中国市場」、「ベトナム市場」、「ASEAN市場」といった対象国に応じたテーマ設定、「知財最新事情」や「外国人材」といった業種横断的なテーマ設定など、自治体のニーズに対応した多様なテーマで開催。
- 個別具体的なテーマ設定により、ターゲットを明確化でき、**説明会参加者（平均51名）・個別相談参加者（平均4件）がともに前年度から約2倍に増加し、約9割が「とても満足」、「満足」との回答であった。**
- 宮崎県、熊本県、長崎県では、説明会前に自治体・金融機関・支援機関等による機構事業策定検討会議を併せて実施。

海外展開支援施策説明会 日程/テーマ/参加者数

開催日	9月3日	9月25日	10月3日	10月16日	10月30日	12月10日	1月28日	2月19日	3月10日
開催地	鹿児島市	福岡市	宮崎市	福岡市 (2回目)	熊本市	大分市	長崎市	宗像市	佐賀市 中止
テーマ	農林水産物・ 食品の 輸出	中国経済	農林水産物・ 食品の 輸出	中国・ASEAN における「知 財」活用法	農林水産物・ 食品の輸出	医療・福祉、 ヘルスケアの ASEAN 市場展開	ベトナム経済	海外展開・ インバウンド	外国人材 活用
参加者数	53人	61人	46人	51人	47名	46名	54名	53名	感染症拡大防止 のため中止



長崎会場



宗像会場



熊本会場



福岡会場

九州・米国起業家セミナー2019

- 在福岡米国領事館と連携し、アメリカ人専門家を招聘したセミナーを2001年度から開催。起業家育成並びに創業・産学連携の促進を図り、ひいては海外ビジネス展開を目指すきっかけづくりを目的とする。
- 今年度は、リーダーシップ開発の専門家であり、5つの会社を起こした連続起業家として経験を持ち、企業のCEO・役員や起業家に対して管理職指導を行うレスリー・グロスマン氏を招聘。新規ビジネスを成功に導き成長させるための5つのビジネス・アクション（行動）などをテーマに講演。
- セミナー終了後、各開催都市の起業家と、少数・クローズドのフォローアップ意見交換会を実施。起業家の悩みの背景にあるビジネスやビジョンの課題について深掘り、個別にアドバイス。具体的な改善策などを共有した。
- セミナーに関する評価について、アンケート結果では、「役に立った」「まあ役に立った」との意見がほぼ9割。「起業にあたっての考え方」、「必要な知識・ビジョン」、「成功事例に基づく具体的な起業家の事例」などについて高評価を得た。

■開催概要

<宮崎会場>

日時：2019年9月11日（水曜日） 14時～16時

場所：県電ホール（宮崎市）

主催：在福岡米国領事館、九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、宮崎県、宮崎市、ジェトロ宮崎

共催：宮崎銀行、宮崎太陽銀行、日本政策金融公庫宮崎支店

後援：（一社）宮崎県商工会議所連合会、宮崎県商工会連合会、宮崎県中小企業団体中央会、

（公財）宮崎県産業振興機構、宮崎商工会議所、宮崎大学、宮崎公立大学、宮崎市ICT企業連絡協議会

参加：94名

<大分会場>

日時：2019年9月12日（木曜日） 14時～16時

場所：ホルトホール大分3階302会議室

主催：在福岡米国領事館、九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、大分県、ジェトロ大分、

九州女性起業家応援プロジェクト（女性起業家等支援ネットワーク構築事業補助金事業）事務局（合同会社アイ.ジ-.シ-）

共催：大分県信用組合、大分日米協会

後援：大分市

参加：46名

<北九州会場>

日時：2019年9月13日（金曜日） 14時～16時

場所：福岡ひびき信用金庫本店大ホール（北九州市八幡東区）

主催：在福岡米国領事館、九州経済産業局、

九州経済国際化推進機構、北九州市、ジェトロ北九州

共催：福岡県、福岡ひびき信用金庫

参加：81名

講師：レスリー・グロスマン氏
(Ms. Leslie Grossman)

○レスリー・グロスマン・リーダーシップ社 社長

○ジョージワシントン大学

女性リーダーシップ・プログラムディレクター



セミナーの様子



質疑応答の様子



意見交換会の様子

海外ビジネス基礎セミナー/海外ビジネス実践ワークショップ 中止

- タイ、ベトナム、ミャンマーの3カ国の第一線で活躍するTMI総合法律事務所の現地駐在弁護士による各国の最新ビジネス事情を解説する基礎セミナー。
- 世界経済・貿易の状況、日本全体の貿易や対外直接投資の動向等に関する情報提供及び海外展開において関心の高いテーマ「食」と「高度外国人材」に関するグループワークを行う実践的なセミナー。
- **新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止**を決定。

現地駐在弁護士に聞くASEAN3カ国最新ビジネス事情 ～タイ、ベトナム、ミャンマー～

- 【開催日】 2020年3月23日（月）
- 【場 所】 セミナー：電気ビル本館地下2階 8号会議室
交流会：電気ビル共創館3階カンファレンスA
- 【主 催】 九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、
一般社団法人九州経済連合会、福岡県、
福岡市、ジェトロ福岡、福岡ワンストップ海外展開推進協議会
- 【内 容】
1. 開会
 2. ASEAN3カ国（タイ、ベトナム、ミャンマー）概観
（ジェトロ福岡 所長 山岡 寛和）
 3. ASEAN3カ国最新ビジネス事情
～現地駐在弁護士が語る各国最新情報～
（TMI総合法律事務所 現地駐在弁護士）
 4. 海外展開支援の取組紹介
（九州経済産業局/福岡県/福岡市）
 5. 質疑応答
（TMI総合法律事務所福岡オフィス所長 山本麻記子弁護士）
 6. 交流会（ネットワーキング・名刺交換）

海外ビジネス実践セミナー

- 【開催日】 2020年3月4日（水）
- 【場 所】 楽ギャラリー（長崎市）
- 【主 催】 九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、
独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部、
独立行政法人日本貿易振興機構長崎貿易情報センター、
株式会社十八銀行、株式会社親和銀行
- 【内 容】
1. 開会
 2. 第一部 セミナー
「変わる世界情勢と日本企業の海外ビジネス戦略
ジェトロ・アンケート調査結果を基に解説」
独立行政法人 日本貿易振興機構
海外調査部国際経済課長 米山 洋 氏
 3. 第二部 ワークショップ
「食の海外展開」
独立行政法人 中小企業基盤整備機構九州本部
国際化支援アドバイザー 福田 俊英 氏、吉田 明弘 氏
「高度外国人材の活用」
独立行政法人 日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター
高度外国人材活躍推進コーディネーター 渡邊 真弓 氏
 4. 第三部 ネットワーキング

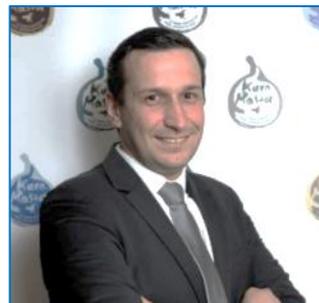
九州本格焼酎セミナーinパリ、Kura Master※招聘事業①

- 日EU・EPA発効を契機として、EUへの九州産酒類の販路開拓のため、平成30年度からフランスの「Kura Master協会」招聘等の事業を実施。
- 令和元年度は、引き続き同協会と連携し、同協会にとって初めて九州の「本格焼酎」をテーマに研修事業を実施。パリ市内にて九州の「本格焼酎」の認知度向上のためセミナーを開催したほか、同協会の訪日研修の機会をとらえ、鹿児島県において、フランスでの本格焼酎の普及に繋げるための酒蔵視察、50銘柄のオール九州の本格焼酎のテイasting会、関係機関との交流会等を実施。

※Kura Masterとは、フランスで2017年から日本酒のコンクールを行うパリ市公認協会。約100名のトップソムリエやジャーナリストを同コンクール審査員に擁する。

1. 九州本格焼酎セミナー in パリ

- 日程：2019年11月25日
- 場所：フランス共和国 パリ市内
- 主催：九州経済国際化推進機構、Kura Master、九州経済産業局
- 対象：フランス等EUのトップソムリエ、ジャーナリストほか
- 内容：フランスのトップソムリエ等に対する「本格焼酎」のプレゼンテーション、トップソムリエ等に対する本格焼酎のテイasting、意見交換等



グザビエ・チュイザ
審査委員長



試飲・意見交換会（令和2年2月）

2. 「Kura Master」招聘事業

- 日程：2020年2月1日（土）～2月3日（月）
- 場所：鹿児島県鹿児島市（鹿児島サンロイヤルホテル）ほか
- 主催（共催、後援等）：九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、福岡国税局、熊本国税局、九州本格焼酎協議会（ほか）
- 招聘者：10名程度（ソムリエ、ジャーナリスト等）
- 内容：九州の本格焼酎とその歴史・文化を実感し、九州及び本格焼酎のアンバサダーとして活躍を期待するためのプログラムの実施（50銘柄の本格焼酎のテイasting、酒蔵視察、フランスのトップソムリエと事業者や関係機関との意見交換会等）

九州本格焼酎セミナーinパリ、Kura Master※招聘事業②

訪日したトップソムリエからは、総じて焼酎の可能性について「25度の食中酒として勧めてもいいのでは。割る文化を広めるには時間がかかるので」、「フルーティな香りがあり口の中で広がっていくので25度と感じない」、「(香りが特徴的な)モダンタイプはフランスでも受け入れられると思う」という肯定するコメントが多い一方で、「フィルターで芋の良さを取り除いているのではないか」「酵母で遊ばず伝統を貫いた方が良い」等の注文があった。

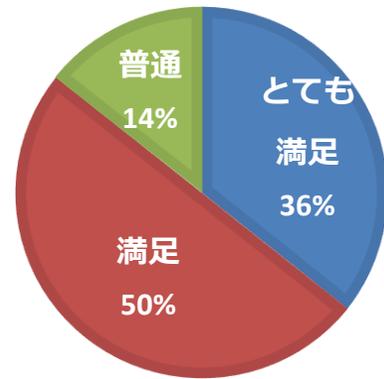
各原料別テーブルで試飲を行ったソムリエの総評コメント

原料	米	麦	芋	黒糖	その他
試飲した ソムリエ	フィリップ・ ジャメス (2つ星シャトーレ ストラン シェフソムリエ)	フィリップ・ トルサール (ソムリエとして 国家最優秀職人章受 賞)	ダヴィッド・ ビロー (ソムリエとして 国家最優秀職人章受 賞)	グザビエ・ チュイザ (5つ星ホテル クリヨン シェフソムリエ)	アマンディーヌ・ パステレル (1つ星レストラン シェフソムリエ)
コメント概要	(米焼酎を味わえて)大きな喜びと名誉を感じている。全体的に繊細であり、精緻で上質で製造にあたって計算され尽くしていると感じる。水・ミネラル感、米の香りはシャンパーニュの世界と共通項がある。 米焼酎がフランス市場で確実に最初の扉を開けると皆様にお伝えしたい。	大麦と麴から作られる麦焼酎はワインに非常によく似ていると感じた。特に麦焼酎は白ブルゴーニュのアロマを生み出し、バランスが取れており、柑橘系の香りと海の香りを連想させる。	口に含んだ際に柔らかく、25度あるとは感じない。製造工程でフィルターにかけることで、サラサラ感や透明度を出しているが、良い香り・味まで取り除いているのでは。海外に紹介する際にアルコールが高すぎるという先入観があると思うが、 全体の味のバランスが良ければフランスの食卓でも飲まれると思う。	減圧製法で作られたものはエレガントで繊細。それに対して常圧は、凝縮された様々な要素がわっと吹き出るような印象。一番驚いたのは、 奄美群島のそれぞれの島の土壌の違いを感じたこと 。減圧の黒糖には特にテロワールを感じ、フランスでの可能性を実感した。	「その他」のテーブルということで、多くの種類の原料に個性があり驚きであった。全てがフランス料理に合うとは言えないが合うと感じられるものもあった。特に 胡麻焼酎の香りは驚きを感じ、フランス料理であれば何に合うのかを考えてみたい。

九州本格焼酎セミナーinパリ、Kura Master※招聘事業③

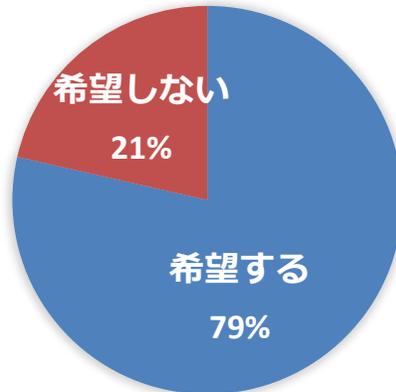
・参加した蔵元等へアンケートを実施した結果、参加した蔵元からの満足度も高く、**多くの蔵元が海外展開に前向きであった。**また、**今後、発展的な事業展開としてフランスにおけるKura Masterとの交流を望むかとの問いには、参加を「希望する」との声が多く、欧州市場への関心の高さが現れる結果**となった。
 ・また、報道での反響も大きく、焼酎アイランド九州の海外展開を印象付ける良い機会となった。

満足度



フランスにおける

KURA MASTERとの交流について



マスメディアでの報道ぶり



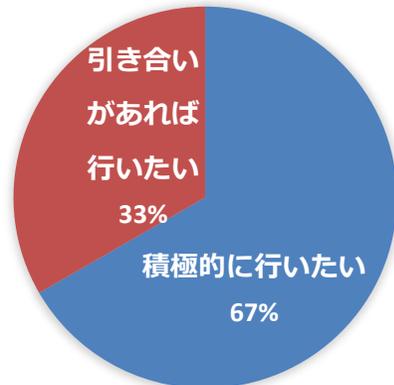
焼酎はおいしい？

来賓の仏トップソムリエに聞く
 フランスの著名なトップソムリエ来賓が2月1～3日、鹿児島を訪れ本格焼酎を味わった。この日本酒コンテスト「Kura Master (クラマスター)」の最高賞を、日本の人間国宝に相当する仏名家蔵元職人兼(O.P.)の称号を持つワイン専門家らに授けられた。3人のインタビュー内容をまとめた。(小原麻由)

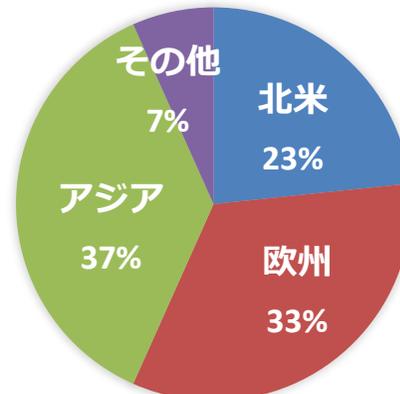
<p>クラウエニチコソムリエ氏 焼酎は、日本の酒文化の中で最も興味を惹かれました。特に、その多様な風味と、自然の恵みを感じることが、フランスのワインと共通しています。</p>	<p>マリットトドロウ氏 焼酎の味わいは、フランスのワインと異なり、非常に複雑で、そして驚くべきほどに繊細です。これは、日本の気候と土壌の賜物だと思います。</p>	<p>タウイムドトドロウ氏 焼酎の歴史は古く、その文化は非常に豊かです。フランスのワインと比べて、焼酎はより多様な風味を持つことが、私には非常に興味深いと感じました。</p>
<p>黒糖との出会い感謝 焼酎の味わいは、黒糖との出会いによってさらに豊かになりました。黒糖の持つ独特の風味が、焼酎の複雑さを引き立てています。</p>	<p>芋の華やかさに驚き 焼酎の味わいは、芋の華やかさに驚かされました。芋の持つ独特の風味が、焼酎の複雑さを引き立てています。</p>	<p>伝統製法の風味評価 焼酎の味わいは、伝統製法の風味評価によってさらに豊かになりました。伝統製法の持つ独特の風味が、焼酎の複雑さを引き立てています。</p>



今後の海外展開の方向性



今後の展開先として
 関心のある国・地域



※参加16蔵中14蔵から回答を得た。

4. 人材交流

Work in Kyushu連携事業

- 「九州グローバル人材活用促進協議会」(以下「協議会」)と連携し、九州企業と留学生等グローバル人材との相互理解を促し、九州企業での活用・定着を促進するため、九州企業と留学生等グローバル人材の交流を図る。
- 昨年10月、Work in Kyushuが新システムに移行したことを踏まえ、登録企業及び登録留学生との交流、新規登録を促進することを目的に事業を実施。

大分県の留学生を対象とした講座との連携
(主催：大分県、九州経済国際化推進機構)

【開催日】 2019年12月18日(水)

【場 所】 大分銀行宗麟館5階会議室

【参加者】 大分県から奨学金を受給する私費留学生76名

【内 容】

- Work in Kyushuの紹介
- 企業紹介
 - ・株式会社ダイナン(大分市)
 - ・株式会社オーイシー(大分市)
 - ・蓮輪旅館(由布市)



▲ Work in Kyushuの説明



▲ 企業紹介の様子

留学生の反応(アンケート回答71名)

▽ Work in Kyushuについて

- ・ 参加した留学生のうち、61名が利用したいと回答

▽ 企業紹介について(留学生の主なコメント)

- ・ 大分県内で働く留学生の経験を聞いて参考になった。
- ・ 日本での就職を希望しているため、積極的に企業情報を収集する必要があると感じた。
- ・ 大分や九州には色々な働くチャンスがあると感じた。

Work in Kyushuシンポジウム2020
(主催：九州グローバル人材活用促進協議会、九州経済国際化推進機構)

【開催日】 2020年1月22日(水)

【場 所】 アクロス福岡

【参加者】 シンポジウム81名(企業43名、留学生25名、その他13名)
交流会53名(企業24名、留学生20名、その他9名)

【内 容】

第1部(講演)

- 九州の留学生と企業をつなぐためのサポート

演題「文化の時代は多様性の時代」

九州教具株式会社 代表取締役社長 船橋修一氏

- 留学生を採用するための準備とは

演題「逃すな見つけた宝、あなどるな在留資格」

行政書士佐藤広明事務所 申請取次行政書士 佐藤広明氏

第2部(事例紹介)

- Work in Kyushuを使いこなす～マッチング成立者からの体験報告～

米盛建設株式会社 総務部長 森祐介氏

総務部国際業務室 ゲン・マイ・リン氏

第3部(留学生と企業の交流会)



▲ 企業の講演

▲ 外国人社員の
体験報告

▲ 交流会の様子



5.投資促進

九州プロモーション事業 ～スポーツ・先端技術・投資展 in 九州～

- 9月28日（土）から29日（日）の2日間、祭りアイランド九州の同時開催事業として、「スポーツ・先端技術・投資展 in 九州」を熊本市で開催。
- 地域への対日直接投資促進に向け、九州の技術力、魅力等を効果的に発信。

<名 称> スポーツ・先端技術・投資展 in 九州
 <日 程> 2019年9月28日（土）～29日（日）
 <場 所> 熊本市上通商店街（祭りアイランド九州会場内）
 <主 催> 九州経済産業局、（一社）九州経済連合会、
 （一財）九州地域産業活性化センター、九州経済国際化推進機構



ステージイベントの様子

ステージイベント

- eスポーツライブ
- 先端技術PRステージ
- 対日投資・インバウンドPRステージ
- 2019年女子ハンドボール世界選手権大会PRステージ



各ブースの様子

プロモーションツアーの様子

体験会

<eスポーツ/スポーツ×先端技術>

- 「ぶよぶよeスポーツ」体験会
 / 熊本県eスポーツ協会設立準備委員会
- DRONE SOCCER デモンストレーション & 体験会
 / (株)オートボックスセブン

<先端技術>

- SportsCoachingDELAY・SportsCoachingVIEWER
 / (株)スポーツセンシング
- プラスVR「スポーツ+VR」 / (株)とっぺん
- Mayii (メイアイ) / 大日本印刷 (株) (DNP)福岡営業所
- メガホンヤク / パナソニック (株)

ブース展示

<対日投資>

- フランス産ワイン・オリーブオイル〔展示販売〕 / AES JAPON (株)
- フランス産輸入お菓子〔展示販売〕 / BLACK TANUKI INN(黒狸宿)
- 観光PR/エクサンプロヴァンス市 (熊本市姉妹都市)

ツアー

<プロモーションツアー>

- 先端技術を活用した上通・下通周辺ツアー/(株)くまもとDMC

■出展者の反応 (11企業・団体)

満足度：非常に満足2、満足8、普通1
 PR効果：非常につながった2、つながった8、普通1
 (主な意見)

- ・非常に多くのお客様に御来店いただき、会社PRが出来た。
- ・熊本県内外のお客様の動向を知ることができ、マーケティングの一環としても役立った。
- ・沢山のの人に体験していただき、今後の参考となるアドバイスが得られた。

総来場者数
約2,300名

■プロモーションツアー参加者の反応

- ・ツアーのおかげで祭りをより楽しめた
- ・熊本や九州の魅力を知ることができた

■海外での反響

フランスのメディア「L'EST REPUBLICAIN」に掲載

- ・会場の様子や、対日投資ブース内でPRを行ったエクサンプロヴァンス市と熊本市の姉妹都市提携について紹介。